第●学年●組 ●●科学習指導案〔てびき〕

●●●立●●(小・中)学校 指導者 ●● ●●

1 日 時 ●●年●●月●●日 (●) <u>● 校時(●・●●~●・●●</u>

2 場 所

 \bigcirc

 \bigcirc

第●学年●組 教室

【4 単元(題材)名】

3 児童(生徒)

第●学年●組 ●●名

学習内容とそれに伴う学習活動が想起できるような単元(題材)名が望ましい。

4 単元(題材)名

●●●●●●●●<全●時間中●時間日>

5 単元 (題材) の目標 (学習指導要領の内容との関連)

【5 単元(題材)の目標】

学習指導要領の内容との関連が分かるように項目と記号を記述し、目指す児童・生徒の姿を示す。**複数ある場合は、本時ともっとも関連のあるものを1~2項目程度記述する。**

6 本時の展開 (1) 本時の目標

【6 (1) 本時の目標】

本時の目標を具体的に記述する。また評価規準との整合性を図る。

(2) 学習の展開

○学習活動

○指導上の留意点

【評価観点】評価規準

(評価方法)

☆Cの児童(生徒)への手立て

1(導入) 【排

・予想される児童(生徒)の反応

【指導上の留意点】 学習活動を進める上で の教師の準備や留意点 を記述する。

2

3

【評価観点】

本時の評価規準を設定し、**評価観点を1~2観点程度**にする。

(評価方法)は、「行動の観察・発言」や「記述の 点検・ワークシート」等、具体的な方法を記述する。 本時の目標との整合性を図る。

☆は、「努力を要する」と判断されそうな児童・生徒に対してどのような手立てを講ずるかを具体的に記述する。または、教師からの支援の仕方を具体的に記述する。

※1「記録に残す評価」は「■」※2「指導に生かす評価」は「□」と記載する。

【学習活動】

児童・生徒の立場で書く。予想される反応は、教師が子どもの学習活動の流れを予想して試みた展開に対し、どんな反応を示し、どんな追究をしていくかを考え記述する。

4 (まとめ)

※学習のめあてと振り返りを意識して作成する。

■【知・技】評価規準

(評価方法)

☆手立て

【指導案様式・てびき ダウンロードURL】 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/s2f/index.html

- ※1評価・評定としてまとめるために、子どもの目標の実現状況を把握し、記録するもの。
- ※2子どもの学習状況を把握、分析し、子どもへの指導・支援や教師の授業改善に生かすもの。
- →記録に残す評価を行わない時間があってもよいが、目標に向けて指導を行う。子どもの学習状況 を記録に残さない活動や時間においても、教師が子どもの学習状況を確認する。